

昇仙峡ミズベリング勉強会in国立公園

～地域の資源を磨くことで「もてなし力」がつく～

日時：平成28年2月24日（水） 10:00～15:00

場所：甲府市 山梨ワイン王国2F会議室（秩父多摩甲斐国立公園内）

http://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/specialty/n_6970.html

主催：昇仙峡観光協会

後援：国土交通省甲府河川国道事務所、甲府市

富士川水系ミズベリング・プロジェクトHP

<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/koufu000517.html>

参加：昇仙峡観光協会会員、研究協力大学生グループ

プログラム

1. あいさつ 昇仙峡観光協会長

2. 講演

もてなしという観点からの地域整備

「ホスピタリティ・ディベロップメント」という考え方

講師 東京大学 地域資源計画学研究室教授 堀 繁

<昼食休憩 1時間>

3. ワークショップ

※昇仙峡を歩いて講演内容を解説

講師 東京大学 地域資源計画学研究室教授 堀 繁

<勉強会終了>

4. 昇仙峡の活性化を研究してくれる大学生グループ説明会
(15:15から1時間程度)



ワイン王国



仙娥滝

問い合わせ・申し込み先

昇仙峡観光協会 <http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>

勉強会事務局（昇仙峡・水晶の博物館内） 雨宮 055-287-2101

crystal@eigado.com

地域の資源を磨くことで「もてなし力」がつく ～ほんものの地域活性化を考えよう～

講師紹介

堀 繁 ほり しげる

東京大学地域資源計画学研究室教授

1952年生まれ。環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学社会工学科助教授などを経て、1996年より現職。国土審議会、歴史的風土審議会の各専門委員の他、多数の委員等を歴任。地域の発展を前提とした景観、アメニティ、観光リゾート、自然環境保全の計画設計を中心課題としている。



出典：ミツカン水の文化センターホームページ 「水の風土記」

http://www.mizu.gr.jp/fudoki/people/027_hori.html

.....<<<抜粋記事の紹介>>>.....

ホスピタリティ・ディベロップメント

一番大事なことは、もてなしという観点からの地域整備です。僕は「ホスピタリティー・ディベロップメント」と呼んでいまして、その具体的な形をホスピタリティー表現と呼んでいます。

「私たちがそこへ行ってみたい」と思うのはどういった場合でしょうか？

一つは「行ったことがないから見てみたい」という動機が考えられます。「白川郷を見たことがないから、行ってみたい」。これは大きな動機ですが、一回行くと、「見たことがない」という状態は解消されますから、二回目の誘引動機にはほとんどなりません。

もう一つは、「行くと楽しい」という動機です。例えば「表参道に行くと、何か楽しい」というケース。楽しいという体験は、一度で満足することはありません。「今度は家族連れて行こう」、「今度は友達と行こう」、「今度は秋行ってみたい」、「また行きたい」というように、楽しい体験は、持続してリピートになる。

こうした楽しい体験を生むのは、「歩いてみたい道」「のぞいてみたいお店」「ゆったりくつろげる休憩スペース」等です。つまりは、「私のことを、とても大事にもてなしてくれるという雰囲気」、それがホスピタリティー表現ということなんです。

あるものを光り輝かせるためには、それを核として、来訪者をゆつくりとそぞろ歩きさせる道の整備や、見ているだけでも楽しい店舗や旅館をつくるか、美味しいコーヒーを飲ませる滞留拠点をつくる等々が必要で、それらを実現するためのことがすべてノウハウなんです。



写真A: 車道よりも狭い歩道幅員
人を大切にしていないことが伝わる



写真B: 車道よりも広い歩道幅員
人を大切にしていることが伝わる

昇仙峡の活性化を研究してくれる大学生グループ募集

昇仙峡のホスピタリティ表現向上を継続的に調査・研究・イベント開催してくれる大学生グループを若干数募集します。

<対象地区>

甲府市昇仙峡（秩父多摩甲斐国立公園内）



<募集条件>

指導教員を含む大学生グループ（1グループ6人まで）であること。
詳細は勉強会終了後に個別相談可

<募集期限>

平成28年2月19日（金）

<県外大学の特典>

- ・県外大学については、現地調査・研究頂く支援として連続して滞在頂けるように学生・指導教員の宿泊費について昇仙峡観光協会が手配する宿泊施設の**宿泊費用は全額観光協会が負担**します。（詳細は当日ご相談）
- ・県外大学グループの宿泊所から昇仙峡までの**移動は、甲府河川国道事務所が配車**します。

<研究の活動イメージ>

1年目

- ・昇仙峡の現地調査・研究
- ・キックオフイベントの企画
- ・キックオフイベントの開催
- ・成果発表
- ・次年度への引き継ぎ

2年目

- ・昨年度の課題の抽出
- ・現地調査
- ・イベントの企画
- ・イベントの開催
- ・成果発表
- ・次年度への引き継ぎ

3年目

- ・昨年度の課題の抽出
- ・現地調査
- ・イベントの企画
- ・イベントの開催
- ・成果発表
- ・次年度への引き継ぎ

継続的な研究

<申し込み先>

昇仙峡観光協会 <http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>
勉強会事務局（昇仙峡・水晶の博物館内） 雨宮 055-287-2101
crystal@eigado.com